

警察署協議会議事録

協議会名	令和6年第2回宮城県白石警察署協議会
開催日時	令和6年8月2日（金）午後4時から 午後5時15分まで
開催場所	宮城県白石警察署 大会議室
出席者等	<p>1 協議会委員 出席委員～佐藤由佳会長、志村正光副会長、高橋秀一委員、 我妻紀子委員 欠席委員～八島淳子委員</p> <p>2 警察署側 署長、次長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課課長代理、警務係長</p>
議事概要	別紙のとおり
備考	

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

別紙

1 質疑応答

委員：ホワイトキューブ前を通過して113号線に向かう道路で、歩道の平板ブロックが浮いているところがあり、でこぼこしていて危険である。

また、同じ道路の113号線との丁字路交差点の手前の辺りで、歩道脇の土が崩れ歩道が狭くなっている。いずれも補修して欲しい。

地域課長：現地を確認したところ、歩道に敷かれた平板が浮いている箇所が数箇所あったほか、道路脇の植生がはみ出し歩道が狭くなっている区域があることを確認した。当署からこの道路を管理する白石市建設課に対し、この件に関し情報提供を実施したところ、同課から、状況確認した上で対応を検討する旨の回答を受けた。

委員：承知した。

委員：先日新聞で、高校生が防犯や交通事故防止の呼びかけをしているという記事を見た。白石警察署でも小、中、高校生への防犯教育や、交通安全指導などを行っているのか。

生活安全課長：当署では、地域住民等に対する防犯や交通安全に関する広報啓発活動を、白石地区少年補導員協会や白石地区防犯協会連合会、白石地区交通安全協会など、多くの関係機関・団体の御支援、御協力を受け実施している。

中学生の自主防犯ボランティア団体としては、白石市立の4中学校で組織する「白石市P S Cパトロール」や、蔵王町立の3中学校で組織する「蔵王P S C」がある。

また、小学校では、白石市立白石第二小学校の児童健全育成ボランティア組織「アルカス」があり、これら団体と当署が連携して、防犯や交通安全に関する街頭キャンペーンなどの広報啓発活動を行っている。

具体的な活動としては、「白石市P S C」は、本年5月20日、当署がJ R白石駅前で開催した「事件事故抑止週間」の街頭キャンペーンに参加している。「アルカス」は、今年2月に、当署と連携して、小学校に地域の高齢者を招いて、特殊詐欺被害の防止を訴える寸劇を披露し、特殊詐欺被害の防止を呼び掛けた。

委員：承知した。

委員：低年齢層の事故防止で、特に重点目標にしていることがあれば教示願いたい。

交通課長：「重点目標」について、警察では、事故の抑止・防止という目標に向かってこのような運動に取り組んでいこうという、「運動の重点」というものがある。

この運動の重点として、「運転者に対する交通安全意識の醸成」、「歩行者の交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践」、「参加・体験・実践型の交通安全教育の推進」、「反射材やLEDライト等の活用促進」を掲げている。

これらの運動の重点に基づき、当署を含む県警察では、子供と高齢者が交通事故から守られる社会を作り、子供と高齢者の交通安全意識の向上を図るという目標を掲げ、「こどもと高齢者の交通事故防止運動」に年間を通じて取り組んでいる。

具体的には、白石市などの自治体や交通安全協会などの関係機関・団体等と連携して、春や秋に交通安全県民総ぐるみ運動を行ったり、小学校で交通安全教室を開催したり、運転者に対する注意喚起などを行っている。

委員：承知した。今後も子供等の事故防止に努めていただきたい。

委員：夏になると、蔵王エコーライン周辺で、バイクの暴走行為や爆音走行が増える。取締りの強化をお願いしたい。

交通課長：警察では、パトロール中にバイクの暴走行為・爆音走行を認知した場合や、通報により認知した場合は、取締りや指導警告等を行っている。

夏季にはエコーライン周辺は、観光客が多く訪れるので、バイクだけではなくその他の車両の運転手に対しても、緊張感を与えるような警戒活動を継続する。

委員：承知した。今後も継続願う。

委員：宮城県内で熊出没警報が出されており、生活圏に熊が出没するケースが増えている。住宅地での銃（麻醉銃）を使用しての撃退が想定されるが、猟友会や警察の役割はどのようになっているのか教示願いたい。

生活安全課長：熊など鳥獣の保護管理については、市町村などの自治体が担っており、熊が出没した際には、自治体が、危険性や駆除の必要性を判断した上で、猟友会会員で組織する「有害鳥獣駆除隊」に緊急捕獲許可を出す。有害鳥獣駆除隊は、緊急捕獲許可に基づき、熊を駆除することとなる。

警察の対応としては、熊が出没したことを認知した場合は、自治体に情報提供するとともに、自治体や有害鳥獣駆除隊と連携し、出没場所付近の地域住民や幼稚園、学校などに対する広報、警戒活動、及び危険性等を勘案して、避難誘導措置、出没場所の立入禁止措置を実施する。付近の学校の集団下校時の警戒はもちろん、集団下校とならない場合でも、通学時間帯の警戒を行っている。

当署では、引き続き、自治体や有害鳥獣駆除隊などと情報共有や連携を図りながら、対応する。

委員：熊が出た場合の銃使用の判断は、自治体のみが行うのか、警察も行うことがあるのか。

生活安全課長：通常、熊等が人等に被害を与える場合、自治体から捕獲許可を受けた駆除隊が猟銃等を使用して捕殺の判断をすることとなるが、住宅街等や夜間の場合は、鳥獣保護法の銃猟規制により、銃猟することができない。その場合には、警察が、特に急を要する場合か否か、他に執りうる手段の有無等を踏まえ、捕殺の判断をすることとなる。

委員：承知した。

委員：先日、山形県内の大雨で、対応に当たっていた警察官が2名殉職したというニュースを見た。警察官は市民の安全のため、使命感を感じて任務に当たっているものと思うが、警察官自身の命も大切にしたい。

署長：山形県警察警察官の殉職事案については、報道されている以外の詳細な情報はないが、誠に残念でならない。お悔やみを申し上げたい。

当県においても、今後の出水期を控え、同種被害の発生が懸念される場所であり、当署としては、令和元年東日本台風など多くの災害の経験を通じて培った教訓、訓練をもとに、当署員を含め、地域住民の安全確保のため、迅速、的確に対応する。

2 報告事項

永野駐在所建て替え工事について（署長）

今年2月27日に開催した「令和6年第1回白石警察署協議会」で、宮、平沢の各駐在所を永野駐在所に統合し、統合した後の、新しい駐在所の名称が「蔵王駐在所」となる旨報告したが、8月下旬頃から、永野駐在所の解体、蔵王駐在所への建替工事が始まり、来年2月中旬以降に、完成予定となった。

この工事に伴い、8月から、永野駐在所勤務員を、平沢駐在所で勤務させており、永野駐在所に電話をかけた場合は、当署若しくは平沢駐在所に転送されるようになっている。

また、このことについては、駐在所広報誌などにより、管内住民の方々に周知を図っている。

完成するまでの間の永野駐在所管轄地域に対しては、これまでと同様に、永野駐在所勤務員はもちろんのこと、平沢駐在所の勤務員も、連携して、警戒、警らの活動や、事件、事故発生時の対応を行うとともに、必要に応じて、当署からも、応援派遣に当たり、地域の防犯、治安維持に努める。

委員：承知した。